

<目標> **グローバルな社会認識力と最難関大学合格力の育成**

1	今年度の達成目標	日本・世界の地理的事象について地理Aレベルまでの学力を有し、異文化理解について自分の考えを発表することができる 私学テスト SS55	担当教師
2	社会科の指導 <授業の指導> (1) 学習時間の確保・・・ (2) 授業展開・・・・・・・・ (3) 情報機器の積極的利用・・・ (4) フィールドワーク・・・  <関連行事への参加> JICA見学・・・・・・・・  <各種実力試験の実施> 世界遺産検定・・・・・・・・	公立中学より週あたり1時間多い、4時間で展開します。 教科書の内容とともに異文化理解教育を実践します。 iPad 活用・デジタル教科書など情報機器を積極的に活用します。 教室だけではなく、現場に立って考える社会科を実践します。  事前学習・事後学習を含めて全員で地球的規模の課題について学びます。  年3回(6月、9月、3月)実施されます。	
3	指導教科書	新しい社会 地理 (東京書籍) 中学校社会科地図 (帝国書院)	
4	補助教材	Key ワーク 地理Ⅰ 東書版 Key ワーク 地理Ⅱ 東書版	
5	評価・評定	(1) 定期考査・平常の取組を総合して評価します。 (2) 評価は「観点別評価」、評定は5段階で行います。 ① 評価の観点 (3項目) * 知識・技能 * 思考・判断・表現 * 主体的に学習に取り組む態度 ② 課題や面接試験等で「30%換算」します。 ③ 定期考査等で「70%換算」します。	

≪家庭へのお願い≫

- (1) 「家庭学習」・・・宿題を含めて復習を必ず行ってください。小テスト前日は合格点がとれるように家庭でも指導をお願いいたします。
- (2) 「持ち物」・・・教科書、ノート(2冊)、A4 ファイル (プリント保管用) を持参させてください。
- (3) 社会への関心を高める・・・新聞を出来る限り定期購読してください。また、家族の中で日々のニュースや授業の内容を話す機会を設けてください。

社会科指導計画

	教科行事	地理的分野	異文化理解	達成目標(Can-Do)
4月		世界のすがた <b>ESD (国際理解学習)</b>	<b>JICA 事前学習</b>	○地球儀や地図帳の活用方法を身につける。 ○主な国々の名称と位置、世界の地域区分を理解することができる。
5月	中間考査 JICA 見学	世界各地の人々の生活と環境 <b>ESD (国際理解学習)</b>	<b>JICA 事後学習</b> 壁新聞の作成 発表	○JICA地球ひろばを見学し、壁新聞を作成し、クラスで発表することができる。 ○雨温図の読み取りができ、気候区分について理解することができる。 ○考査で70点をとることができる。
6月		世界の諸地域 (アジア州) 世界の諸地域 (ヨーロッパ州) <b>ESD (国際理解学習)</b>	<b>地域の調査</b> 調査テーマの決定 調査の準備	○アジア・ヨーロッパの地域的特色について概観し、基礎的・基本的な知識を身につける。 ○身近な地域の調査テーマを設定し、調査のための準備を主体的に行うことができる。
7月	期末考査	世界の諸地域 (アフリカ州) 世界の諸地域 (北アメリカ州) <b>ESD (国際理解学習)</b>	地域調査 調査発表の準備	○アフリカ・北アメリカの地域的特色について概観し、基礎的・基本的な知識を身につける。 ○地域調査を主体的に行うことができる。 ○考査で70点をとることができる。
8月	夏季講習 夏季合宿	夏休みの課題 地域調査レポート		○地域調査を行い、レポートを作成することができる。
9月	私学テスト	世界の諸地域 (南アメリカ州) 世界の諸地域 (オセアニア州) <b>ESD (国際理解学習)</b>	地域調査の発表 <b>日本各地の郷土料理を食す①</b>	○アフリカ・北アメリカの地域的特色について概観し、基礎的・基本的な知識を身につける。 ○地域調査の発表を他者にわかりやすいようにまとめることができる。 ○模擬試験の70%を正解することができる。
10月	中間考査 (I)	日本のすがた 世界から見た日本の自然環境 世界から見た日本の人口 <b>ESD (防災学習) (環境学習)</b>	<b>世界のさまざまな地域の調査①</b> 調査テーマの決定	○地形図の読み方や活用方法を理解することができる。 ○環境問題について、説明することができる。 ○調査テーマを設定し、調査のための準備を主体的に行うことができる。
11月		日本の資源・エネルギーと産業 世界と日本の結びつき 日本の諸地域 (九州地方) <b>ESD (エネルギー学習)</b>	調査の準備 情報収集	○日本や世界のエネルギー問題について説明することができる。 ○日本と世界の結びつきについて概観し、特長をおさえることができる。 ○調査の準備を主体的にすすめることができる。 ○考査で70点をとることができる。
12月	中間考査 (II)	日本の諸地域 (九州地方) 日本の諸地域 (中国・四国地方) <b>ESD (世界遺産に関する学習)</b>	調査発表の準備 調査発表 <b>日本各地の郷土料理を食す②</b>	○九州・中国四国地方の地域的特色について概観し、基礎的・基本的な知識を身につける。 ○自らの調査の問題点について考察することができる。 ○考査で70点をとることができる。
1月	私学テスト	日本の諸地域 (近畿地方) 日本の諸地域 (中部地方) <b>ESD (地域に関する学習)</b>	<b>世界のさまざまな地域の調査②</b> 調査テーマの決定	○近畿・中部地方の地域的特色について概観し、基礎的・基本的な知識を身につける。 ○前回の調査の課題点を踏まえ、新たにテーマを設定することができる。 ○模擬試験の70%を正解することができる。
2月		日本の諸地域 (関東地方) 日本の諸地域 (東北地方) <b>ESD (防災学習)</b>	調査の準備 情報収集	○関東・東北地方の地域的特色について概観し、基礎的・基本的な知識を身につける。
3月	期末考査	日本の諸地域 (北海道地方) 地理の総復習 <b>ESD (世界遺産に関する学習)</b>	調査発表の準備 調査発表 <b>日本各地の郷土料理を食す③</b>	○北海道地方の地域的特色について概観し、基礎的・基本的な知識を身につける。 ○クラスの生徒の発表を聞き、その批評を行うことができる。 ○考査で70点をとることができる。